

令和2年度学校関係者評価
 専門学校中央医療健康大学校 歯科衛生学科

令和2年度学校関係者評価委員	
■保護者 秋次 雅代	
■企業関係者 今村陽一郎	
■他校関係者 根木規予子	

1. 教育理念・目標		
【自己評価結果】		平均
1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	A
3	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	A
4	組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	A
5	鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	A
【現状の問題点】		
特に問題はないと思われる。		
【改善のための方策】		
学生への浸透については、教室に掲示はしているが、コロナの影響で読み合わせが出来ない。年度初めなど区切りの時期に教員より伝達するなど機会をつくる。		
【関係者評価】		
改善のための方策を時期をみて実施してほしい		

2. 学校運営		
【自己評価結果】		平均
5	目標を達成するための事業計画が策定されているか	A
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	A
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	B
8	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	B
9	組織内の連携は適切に図られているか。	B
10	上司の指示は適切にされているか	B
11	上司は提案を受け入れてくれているか	B
12	職場内での教職員教育・指導は充分なされているか。	B
13	BSCIは適切に活用されているか。	B
【現状の問題点】		
コロナ禍ということもあり、難しかった面もあるのか昨年度よりも評価が下がっている。特にBSCについては評価がかなり下がってしまったので改善が望まれる。		
【改善のための方策】		
⑦～⑪学科会の実施を計画的に行う。スプレッドシートで入力している業務日誌の中に学年ごとの動き、教員の授業以外の業務を記入する。 ⑬BSCIについては日頃から心掛けられる様、書面化しておき、学科会の中で、見直しの時間をつくる。		
【関係者評価】		
学科内の人事変更があったこともあり、見直しする機会でもある。新しい意見もコロナ禍での対応に追われ十分な時間も得られなかったのではないかな。		

3. 教育活動		
【自己評価結果】		平均
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	A
15	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
16	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	A
17	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	A
18	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	A
19	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	A
20	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	A
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	A
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	B
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	B
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。	C
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	B
【現状の問題点】		
課内での話し合いの機会をつくるようにしていく必要がある。教育行事はコロナ禍で準備が大変だった面もあるが、年間計画の中で余裕をもって望めるようにしていきたい。		
【改善のための方策】		
②・③ 今年度は学科として人事の体制が変わったこと、コロナへの対応などで、すべての教員にとってかなり業務の負担が大きかった。来年度の講義日程作成において、専任の科目の講義時間、内容の見直しを行った為、今年度より空きコマが増えた。来年度、実施してさらに改善点を検討していく。2年目を迎える事で変える事、変えないで良いことを整理していく。		
【関係者評価】		
人事体制が変わったことは、内容を見直すチャンスでもある。新しい内容を取り入れてほしい。		

4. 学修成果		
【自己評価結果】		平均
26	就職率の向上が図られているか	B
27	退学率の低減が図られているか	A
【現状の問題点】		
就職率は良いと思われるが見直しをしたい。退学率の低減は毎年工夫を継続する必要がある。		
【改善のための方策】		
就職指導においては、臨床実習と並行し、現場を見て就業へのイメージを広げる為にも、年度初め、早期に見学を勧めていく。		
【関係者評価】		
歯科医師会主催の就職や職業に関する活動がコロナ禍で実施できていないが、院内ポスターなどで学生募集など協力をしていきたい。今後に期待したい。		

5. 学生生活支援		
【自己評価結果】		平均
28	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	A
28	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	A
29	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	B
30	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	B
31	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A
【現状の問題点】		
防犯包材訓練については、他科とも協議して改善をして行く必要がある。		
【改善のための方策】		
現在の避難訓練は、火事の設定であるが、地震・津波・帰宅訓練など必要。他学科と協議する必要がある。		
【関係者評価】		
本校の住所地は津波浸水区域かとの質問あり→浸水区域ではない 緊急連絡時も含めてに保護者メールの活用を今後も継続してほしい		

6. 教育環境		
【自己評価結果】		平均
33	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	A
【現状の問題点】		
整備を数年計画で検討していくようにし、予算に無理のないように整備を実施していく必要がある。		
【改善のための方策】		
開設7年目になり、器材はだいが揃ってきた。経年劣化の物を検討し、計画的に進めていく。		
【関係者評価】		
設備も整っており、問題はない		

7. 学生の受け入れ募集		
【自己評価結果】		平均
34	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。	A
34	入学案内(パンフレット)には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	A
35	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	B
36	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	B
【現状の問題点】		
応募者が多く募集は順調であったが、改善すべき点があればすぐに見直しを図っていく必要がある。		
【改善のための方策】		
今年度は一般入試が行われなかったが、〇〇などで告知している為、計画的に募集を行っていく。		
【関係者評価】		
指定校入試の辞退はありえない。高校側にペナルティを与えてもよいのではないか。		

8. 財務		
【自己評価結果】		平均
38	・ 中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	A
39	・ 学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	A
【現状の問題点】		
特に問題はないと思われる。		
【改善のための方策】		
特になし。		
【関係者評価】		
特に問題はないと思われる		

9. 法令等の遵守		
【自己評価結果】		平均
40	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
40	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	A
41	個人情報保護法を遵守しているか。	A
42	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	B
【現状の問題点】		
特に問題はないと思われるが、個人情報保護とハラスメント防止は重要であるのでより良くしていきたい		
【改善のための方策】		
特になし		
【関係者評価】		
特になし		